３　報告事項

ウ　神奈川県地域がん登録の方向性について

1　地域がん登録について

次の理由により、地域がん登録は令和８年度末で**終了する方向性で検討**している。

- 全国がん登録及び院内がん登録情報の更なる利活用に向け、**全国がん登録項目の拡充**や**院内がん登録データベースと公的データベースの連結を可能とする**こと等が進められており、**地域がん登録との差異が少なくなってきた**こと。（次頁参照）

  - 地域がん登録の独自収集項目であった**TNM分類**及び**死亡場所**について、それぞれ**令和10年診断、令和９年診断**以降の収集が決定

- **全国がん登録でも地域がん登録とほぼ同様の情報が収集**されている中、同様の情報を二重に予算や手間を掛けているため、**県としては、地域がん登録の取り扱いを見直し、全国がん登録への集約化を進めていく判断**に至ったこと。

2　全国がん登録情報及び院内がん情報の更なる利活用に向けた整備

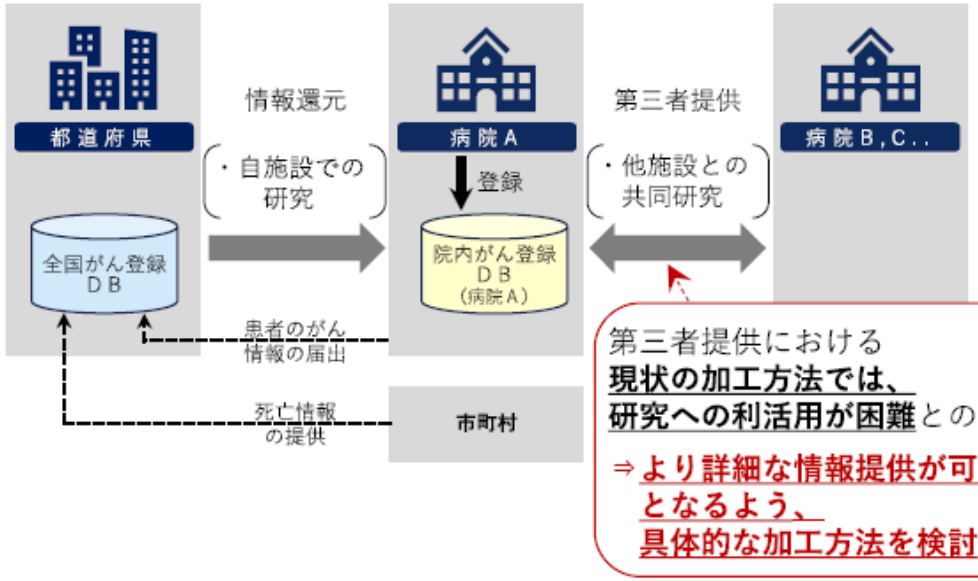
令和７年度検討・結論等

（がん登録推進法、全国がん登録情報の利用マニュアル）

概要

がん対策の一層の充実に向けて、**全国がん登録データベースの登録項目を拡充**するとともに、病院からのより具体的な**情報（死亡日等、死因）の第三者提供**や、**院内がん登録データベースと公的データベースの連結を可能**とし、**がん研究におけるデータ利用を**量・質の両面で**促進**。

がん登録データベースにおける情報の第三者提供
～共同研究のためには、より具体的な情報の第三者提供が必要～



第三者提供における
現状の加工方法では、研究への利活用が困難との声。

⇒**より詳細な情報提供が可能となるよう、具体的な加工方法を検討。**

全国がん登録の情報を第三者提供する場合の加工
～がん研究のため、死亡日や死因など、より具体的な情報が重要～

（加工前）

診断日	死亡日	最終生存確認日	原死因
2016/01/08	2017/04/23	―	K743（肝硬変）
2016/01/21	―	2021/12/31	
2016/01/26	2021/12/01	―	C349（肺がん）

（加工後）

提供用診断年月	提供用生存期間（日）	提供用原死因
2016/01	472	がん以外の死亡
2016/01	2172	生存
2016/01	2137	がんによる死亡

（備考）左図：第30回厚生科学審議会がん登録部会（令和６年11月25日）資料２により作成。

3　地域がん登録終了による影響への対応について

地域がん登録を終了による影響を考慮し、今後、次の対応を検討していく。

◆　**がん登録データの研究利用**は、地域がん登録から**全国がん登録のデータ**に変更することで、**これまでと同等のデータの利活用が可能**

◆　これまで収集してきた**地域がん登録情報（過去データ）**は、**今後も研究利用が可能となるよう検討を進める**。

◆　**地域がん登録を利用した精度管理事業**は、**既存の地域がん登録データを用いることで令和９年度までは継続可能**。**令和10年度以降は全国がん登録へ切り替え**、従来と同様に事業を継続できるよう、**必要事項を国に要望するとともに、実施市町村と今後調整を進めていく。**